

山菜だより



3月下旬

山麓の雪が消えてくると、
山菜採りの開始。
冬眠あけの熊のごとく、
ごそごと餌を探して歩き廻ります。



花も一斉に咲き出し、早春！！



以前は、シャクナゲなど大振りで
派手な色の花が好きだったのに、
最近は白い可憐な花が好きになった気がする。

まずは、フキノトウ。
つぼみを1個1っこ集めます。

ウグイスが「ホーホケキョ」と鳴き、
冷たい風も気持ち良い！





日なたのフキはすっかり大きくなり過ぎ。
水たまりでは、カエルの卵がスクスクと。



おや？
たった一人のはずが、何か視線を感じた。



15m先ほどに「日本カモシカ」がいた。

なんだ、カモシカか？ お～い！と呼びかけても返事もしなければ、
逃げもしない。ここは俺の縄張りだぞ～！
そこで、指笛で「**ピー**」と脅かしたが、「**じッ**」とこっちを見ている。

二人（匹）の間には、
金網がないことに、ふと気づいた

襲いかかってきたらどうしよう？

急に怖くなってきた。

あわてて再度、指笛を鳴らしてもやっぱり

逃げない。

唇が乾いて、指笛が鳴らなくなった！
手には山菜用の小型ナイフしか持っていない。
日頃、鍛冶屋で鍛えたナイフや包丁は手元がない。
アイツは本気か！ 増々怖くなってくる

「バカ」を「馬鹿」と書くくらいだから、
逃げない鹿はきっとバカなんだろう！

ヤル気か！このバ鹿！！

でも、。。。。。。

俺は争い事は嫌いだ！
妻と喧嘩しても、いつも勝ちをゆずっている！
ここは、大人の俺が、引き下がってやる！！
ありがたく思え！！！！



山菜採りを止めて、
速足になりそうなのをグッとこら
えて、来た道をすごすごと戻る。
理屈をこねても、
こころは敗北感でいっぱい

心なしかウグイスも
ボケボケ ボケキョと聞こえる

4月中旬



さらに暖かくなると、
「こごみ」も開き過ぎ、
「わさび」や「たらの芽」の時期



水辺に、「わさび」が自生している。
根を食べるのではなく、茎と葉を食す。
ほのかな辛みが絶品。



こごみ

いつもの縄張りをカモシカにゆずったので、
今日は沢沿いを散策



ワサビの花



「片葉」の芽が出てきた



たらの芽

5月上旬

石川県の山には送電線の鉄塔が多く立っていて、
その保守道路がいくつかあります。

山里の山菜が無くなると
車で行けるところまで登って、あとは藪こぎ。

帰りは車がUターン出来ず、
しばらくバックで降りてくる。



土砂くずれで、通行止めの山道



片葉の群生、葉っぱを取って、
茎のキンピラが美味しい



たらの芽は大きくなり過ぎでおしまい。
片葉がちょうど食べ頃です



ゼンマイもおしまい。



鮮やかな片葉の緑

杉林の陽だまりに、カタクリが自生していた。
茹でて食べると、ほうれん草のように癖のない山菜ですが、



今は可憐な花と、清楚な佇まいを鑑賞するだけの「山菜撮り」。



今回は山菜の収穫は少ないが、
綺麗な花を堪能できたので、
満足して帰宅です。

